

## 第七中学校区こども園整備に関する香澄まちづくり会議での説明 会議録

### 【1. 開催日時・場所】

平成 29 年 7 月 13 日(火) 午後 7 時～午後 7 時 45 分  
香澄集会所

### 【2. 出席者】

- 地域住民 35 名
- 習志野市（竹田こども部長、小澤こども部次長、小野寺こども政策課、増谷同課主査）

### 【3. 内容】

- 第七中学校区のこども園設置について

### 【4. 配布資料】

- 第七中学校区における市立こども園の設置について

### 【5. 意見交換会概要】

#### 1. 開会

<竹田こども部長 挨拶>

本日のお話は、第七中学校区における市立こども園の設置ということで、香澄幼稚園と秋津幼稚園の問題です。

近年、園児数が非常に少なくなっており、多くの課題が生じています。

この件について、本日は、今後の市の考え方を説明させていただきます。

#### 2. 第七中学校区のこども園設置についての説明

<小野寺こども政策課長>

※ 配布した資料に基づき、これまでのこども園整備や市立幼稚園・保育所の私立化、第七中学校区のこども園の設置について、改めて、説明しました。

※ 地域バランスを考慮し、香澄幼稚園と秋津幼稚園を統合した上で、香澄幼稚園を活用したこども園整備を検討していることを説明しました。

### 3. 質疑応答

#### <地域住民>

幼稚園の人数について、平成28年、29年は秋津幼稚園で増えていますが、香澄幼稚園は減っています。なぜですか？

#### <市>

秋津幼稚園と香澄幼稚園は資料の表のとおり、減ったり増えたりしています。

今後の人口推計を見ると秋津、香澄地区の0~2才の子どもの数はほぼ同じです。

確かに、秋津幼稚園は平成26年、27年が10人から少し盛り返しています。これは、園の努力として、毎日、園庭開放を行うなどした結果でありましたが、秋津地域だけでなく、隣の谷津地区や津田沼地区などからも子どもが来ている状況からです。

数字でいうと、平成29年の秋津の年少は13名で、このうち、秋津に住んでいる子どもは9名となります。秋津、香澄地区は、その年ごとに多少の違いがありますが、ほぼ同様の条件となっています。

#### <地域住民>

香澄幼稚園は平成29年度の年長・年少あわせて園児が13人ですが、対象年齢の子どもは香澄地区に何人くらいいますか？

#### <市>

平成29年3月末の住民基本台帳の数では、0~5歳の就学前児童数で、香澄地区は216名、秋津地区が213名と、数としてはほぼ同じとなっています。

香澄1丁目から6丁目の5歳の子どもは40名、4歳は25名、3歳は41名、0~2才は110名、合せて216名となっています。

そのなかで、施設をどのように選択しているかは、香澄地区には保育需要が大きくかすみ保育園に通っている子どもが圧倒的に多く、香澄幼稚園を9名、私立幼稚園を17名が選択しています。

秋津地区については、私立幼稚園を選択している方が17名、秋津保育所を利用している方が多くなっています。

働く女性が増えている中では圧倒的に保育需要を求めているお母さんが非常に多いと感じています。

#### <地域住民>

保育需要が多いのであれば、幼稚園を廃止して秋津、香澄幼稚園の両方を保育園として定員を増やすという考え方が合うのではなでしょうか？

#### <市>

待機児童というのは全国的な課題になっていますが、秋津・香澄地区は、若干の待機児童はいますが、現状の施設のなかで対応できると考えています。

こども園を整備する理由については、こども園はお母さんたちの就労条件に関わりなく、教育・保育を一緒に受けられる施設であるためです。

また、こども園には、こどもセンターを併設し、在宅のお母さんたちが気軽にその中で相談できる子育て拠点施設も整備したいと考えています。

第七中学校区に、こども園と子育て支援の拠点となるこどもセンターを整備させて頂きたいというのが本日の趣旨となります。

#### <市>

本来であれば、0～5歳の施設を設けることを考えなければいけません、それにはもう少しばかり時間を要します。

今回、心配に感じたのは、平成29年の香澄幼稚園における年少の入園数が5名という状況であり、在園の子どもたちに対して集団教育を提供するのが難しいということです。

4、5歳の時期は、小学校就学前の本当に大切な時期であり、しっかりと教育・保育をしなければならぬとして、検討を早め、取り急ぎ、3歳からのこども園としてリニューアルしたいというものです。

## 4. 閉会

#### 《問合せ》

習志野市こども政策課 電話番号 047-451-1151(内線:442・433)